

週間市場レポート (2021年3月1日~3月5日)

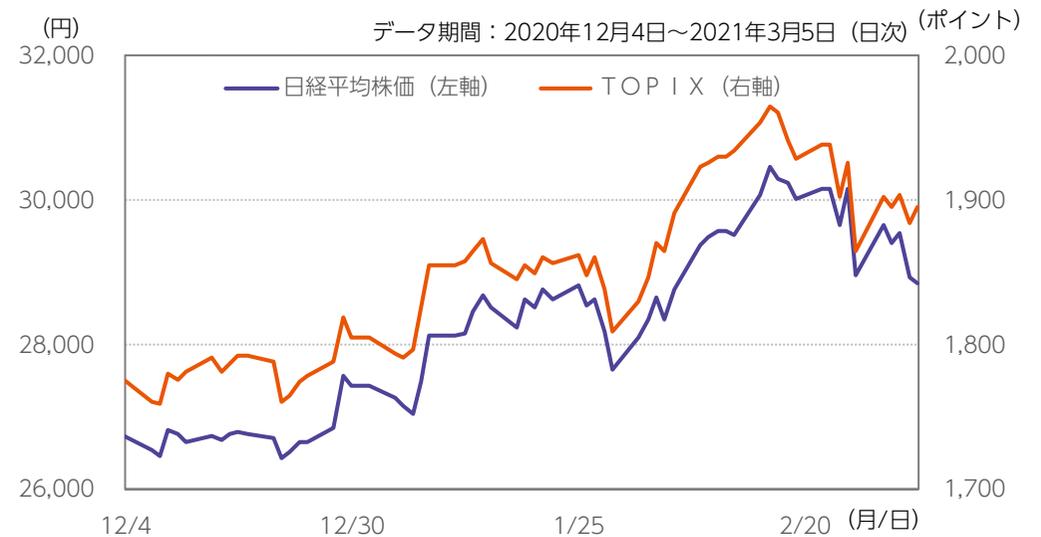
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/2/26	先週末 2021/3/5	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		28,966.01	28,864.32	▲ 0.35 ↓
TOPIX (東証株価指数)		1,864.49	1,896.18	1.70 ↑
ダウ工業株30種平均 (ドル)		30,932.37	31,496.30	1.82 ↑
S & P500種指数		3,811.15	3,841.94	0.81 ↑
ユーロ・ストックス50指数		3,636.44	3,669.54	0.91 ↑
S & P/ASX300指数		6,663.94	6,691.57	0.41 ↑
上海総合指数		3,509.08	3,501.99	▲ 0.20 ↓
MSCI AC アジア (除く日本)※		1,071.08	1,069.50	▲ 0.15 ↓
東証REIT指数		1,929.15	1,897.59	▲ 1.64 ↓
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		731.15	724.46	▲ 0.91 ↓
ASX300 REIT 指数		1,340.10	1,374.10	2.54 ↑
グローバルREIT (除く日本)※		176.70	176.97	0.15 ↑
日本10年国債 (%)		0.162	0.096	▲ 0.066 ↓
米国10年国債 (%)		1.405	1.566	0.161 ↑
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.260	▲ 0.302	▲ 0.042 ↓
英国10年国債 (%)		0.820	0.756	▲ 0.064 ↓
ドル/円		106.57	108.31	1.63 ↑
ユーロ/円		128.67	128.98	0.24 ↑
英ポンド/円		148.40	149.92	1.03 ↑
豪ドル/円		82.13	83.28	1.40 ↑
フィラデルフィア半導体指数		3,067.63	2,920.75	▲ 4.79 ↓
WTI原油先物 (ドル)		61.50	66.09	7.46 ↑
CRB指数		190.43	193.45	1.58 ↑
アレリアンMLP指数		926.58	1,026.84	10.82 ↑

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落となりました。米長期金利の上昇がやや一服し、投資家の過度な不安が後退したことなどから、前週末の大幅下落から一転、週初は上昇しました。しかし、米長期金利の上昇懸念は根強く、週末まで米長期金利の動向をにらみながら値動きの激しい展開となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

≪ 債券 ≫

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下となりました。
日本銀行が3月に公表予定の金融政策の点検結果で、長期金利の変動許容幅を拡大するとの思惑がくすぶる中、黒田日銀総裁が長期金利の変動幅の拡大に否定的な姿勢を示したことなどから金融緩和の継続が意識され、利回りは低下しました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。
金利の上昇がやや一服し、週初は上昇となったものの、その後は長期金利の動向を受け値動きの激しい展開が続きました。パウエル米連邦準備制度理事会（F R B）議長が、金利上昇をけん制する具体策を示さなかったことなどが失望され下落したものの、週末には、下落が目立っていたハイテク株を中心に押し目買いが入り上昇しました。



出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。
米長期金利の動向を受け、一進一退の展開となりました。週末は、パウエルF R B議長が、足元の金利上昇をけん制する具体策を示さなかったことから米長期金利が上昇し、日米金利差の拡大を意識した円売り米ドル買いが進行しました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、米長期金利の動向をにらみながら、日米両市場ともに値動きの激しい展開となりました。

米国の景気早期回復期待による米長期金利の急上昇を背景に、足元の株式市場は不安定な値動きが続いています。4日（木）の『米国景気に関する討論会』で、長期金利の上昇の抑制手段として、一部の市場参加者が期待していた国債の購入年限を調整するオペレーションの導入について、パウエルF R B議長は言及しませんでした。市場はこれを失望し、米長期金利は再び上昇しています。

今週の日米株式市場も、米長期金利の動向をにらみながら、上下に振れやすい展開を予想します。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>